

日本体育・スポーツ経営学会 第42回大会のご案内

拝啓 会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、日本体育・スポーツ経営学会第42回大会を東海地区の静岡大学において、平成31年3月18日（月）から19日（火）までの2日間で開催させて頂く運びとなりました。東海地区での開催は14年ぶり3度目となり、静岡県では“初”となります。大きな重圧を感じながらも、身の引き締まる思いと確かな喜びを感じています。

さて、今大会は「スポーツの成長産業化」について真剣に問いたく思います。このキーワードは、「第2期スポーツ基本計画」において標榜されており、今日、我が国のスポーツ推進を語る上で大きなウエイトを占めています。このように近年は、現代社会におけるスポーツ需要の拡大・進展に伴う産業化への傾倒が顕著といえ、これに呼応するかのように、スポーツ経営（学）界における研究対象の拡張化がますます進んでいます。

これまで本学会は、主に公共・非営利領域における運動者主体（「人とスポーツの直接的な結びつき」を重要視）による体育・スポーツ経営の理論開発をその中心的課題として据えてきました。したがって、産業化の議論についてクローズアップされることは少なかったように思われます。しかしながら、それへの注目がなかったわけではなく、「運動者主体のスポーツマーケティング研究（商業スポーツ施設経営論）」や『『みるスポーツ』に関するスポーツプロデュース研究（スポーツ観戦者行動論）」などによって、着実な研究成果と社会還元を図ってきました。但し、今日の産業化は従来のそれとは異質な方向に進んでいます。それはつまり、日本経済再生政策の脈絡によって、いわば「経済論理優先」のスポーツ推進が主流になりつつあるということです。こうした社会的状況の中、我々に求められることは、改めて体育・スポーツ経営学の基本的視座を問い直しつつ、産業化への認識とその研究対象としての位置づけを明確にすることではないでしょうか。

そこで、本大会のメインテーマを「**スポーツの成長産業化と体育・スポーツ経営学の果たす役割**」とし、サブテーマを、「**体育・スポーツ経営学の不易流行を問う**」とします。不易流行の統合的な意味を念頭に置き、スポーツの成長産業化という現実課題への応答（流行）を的にしつつも、同時に、体育・スポーツ経営学の基本的使命（不易）への再自覚化を促す機会となることを期待しています。

最後になりますが、大会運営に際し自身の力不足と不慣れさも重なり、円滑に運営を進められるものか些か不安であります。ただそれ以上に、心強い実行委員会委員と共に出来る限りの工夫とおもてなしをさせて頂き、会員の皆様にとって実り多き大会となるよう尽力致します。多くの皆様にご参加・ご発表頂けますようお願いさせて頂きつつ、ここにご案内申し上げます。

敬具

第42回大会実行委員会

委員長 静岡大学 村田 真一



春先の富士山を臨む静岡大学の風景

■大会スケジュール

大会期間：2019年（平成31年）3月18日（月）～19日（火）

開催場所：国立大学法人静岡大学静岡キャンパス 共通教育 A 棟ほか

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

<http://www.shizuoka.ac.jp/>

スケジュール：

	1日目(3月18日:月曜日)	2日目(3月19日:火曜日)
8:30	受付	
9:00		一般研究発表
9:30	開会行事	
10:00	9:45 学生・一般研究発表	
10:30		
11:00		
11:30		
12:00	昼食	昼食
13:00		
13:30	基調講演: 「豊かな生活とスポーツの成長産業化を読み解く」 □講演者: 菊幸一氏(筑波大学)	一般研究発表
14:00		
14:30		
15:00	シンポジウム: 「スポーツの成長産業化と体育・スポーツ経営学の果たす役割」 □シンポジスト: 川合現氏(スポーツ庁)	
15:30	仲澤眞氏(筑波大学)	
16:00	中西純司氏(立命館大学)	16:15 閉会行事
16:30	□司会 : 中路恭平氏(南山大学)	
17:00	村田真一氏(静岡大学)	
17:30	総会	
18:00		
18:30	懇親会・学会大会優秀発表賞等表彰	

※発表申し込み件数などにより日程・時間を変更する場合がございます。予めご了承ください。

■会場までのアクセス（本学ホームページも併せてご参照願います。<http://www.shizuoka.ac.jp/access/index.html>）

JR 東海道線・東海道新幹線「静岡駅」より、北口バスターミナル 8B 乗り場より路線バス利用
（所要時間 25 分ほど、1 時間に 5～7 本運行、下記の 4 路線がございます。）

1. 美和大谷線「静岡大学」行き ⇒ 【静岡大学】または【静大片山】で下車
2. 美和大谷線「東大谷」行き（静岡大学経由） ⇒ 同上
3. 美和大谷線「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き（静岡大学経由） ⇒ 同上
4. 美和大谷線「東大谷」行き（静岡大学を經由しないもの） ⇒ 【片山】で下車

